

静岡県漁業協同組合連合会
1116 静岡市追手町 9-18
16.10.29 054-254-6011
編集・発行 = 指導部漁政課

1. 大日本水産会平成16年度水産功績者45名、本県で橋ヶ谷善生氏受賞

大日本水産会では去る10月5日開催の水産功績者表彰委員会で、平成16年度の功績者45名を決めました。今年度は都道府県からの推薦により選考が行なわれ、部門別の内訳では沿岸漁業関係18名、沖合・遠洋漁業関係が5名、増養殖・内水面漁業関係が11名、流通・加工・冷凍関係が7名、金融・保険・共済関係が2名、一般が2名となりました。また、魚食普及貢献者・団体に贈る感謝状贈呈者として、1氏、1団体を決めました。

本県からは、橋ヶ谷善生氏(小川漁協組合長)が、沿岸漁業関係部門より選ばれました。なお、表彰式は11月25日(木)三会堂ビル(東京都)で執り行われます。

ここに受賞を衷心よりお喜び申し上げるとともに、今後の一層のご活躍をご期待申し上げます。

2. 15年度の海面養殖業・家族型経営調査結果を公表

農林水産省統計部では去る10月20日、平成15年度の漁業経営調査のうち、海面養殖業の家族型経営調査の結果を公表しました。

それによると、ブリ類養殖業の経営では漁業収入が1億331万円、漁業支出が9,318万円で、マダイ養殖業の経営では漁業収入が3,437万円、漁業支出が4,071万円と収入を上回り漁業所得が634万円のマイナスとなりました。

漁業支出を科目別に見ると、ブリ類養殖の場合、餌代が63.3%と最も高い割合を占め、次いで種苗代が17.5%、減価償却が5.2%の順となり、マダイ養殖では餌代69.9%、種苗代が10.3%となりました。

漁業依存度(総所得に占める漁業所得の割合)は、ブリ類が最も高く81.5%、次いでカキが71.5%、ホタテガイが65.1%の順となりました。

3. 水産庁ダイオキシン調査結果発表 パンフ作成、マグロ・カツオの効能紹介

水産庁ではこのほど「平成15年度魚介類のダイオキシン類実態調査の結果」を公表しました。

14年までの4年間実施した調査を踏まえ、昨年度から5カ年計画で始まった本格的な調査の初年度分として137種、344検体を調査し、魚介類に含まれるダイオキシン類の平均含有量は1 μg あたり0.754 μg (1兆分の1 μg)となり、過去4年間に実施した調査の平均値0.908 μg と変わらない、健康に影響ない低い数値となりました。

また、この調査にあわせてパンフレット「魚介類のダイオキシン類の解説」(第3版)を作成しました。このパンフレットは、同調査の結果を一般にもわかりやすく説明したもので、ダイオキシンの蓄積量は魚介類の種類や生息環境、大きさなどで異なるとしたうえで、偏った食べ方を避ければ安全基準を十分下回ると強調しています。魚介類は良質なたんぱく質、多種のビタミン類、DHAやEPAなどを豊富に含んでいるので、大変有用な食品であると説明しています。カツオ・マグロ類については、豊富に含む栄養成分と

してカツオのビタミンB₁₂、クロカジキのビタミンD₃、マグロのセレン、機能成分としてクロマグロ脂身のDHAとEPA、マグロ血合い肉のタウリンをそれぞれ紹介しています。

4. 電気でしびれさす「サメショッカー」が完成

キンメー本つり漁業、延縄漁業などにおいて、サメにより釣り上げた魚を横取りされる被害が多発し、水産総合研究センターと㈱テクノパルスは共同開発で、網を揚げるのに邪魔にならないよう電極を船体に吸着させる形にして、サメを電気で撃退する「サメショッカー」を開発しました。

サメは電気に非常に敏感で、サメの顔には「ロレンチニ瓶」と呼ばれる電気を感じる穴のような器官が何百もあり、サメは1ボルトの1億分の電圧を感知するというのもいわれています。このようにサメの弱点をうまく利用して、昨年石川県でサメがどれくらい電気でしびれるのか水族館で実験し、イワシなどの硬骨魚類の10分の1から20分の1の電流でショック状態に陥ることがわかりました。

実験を踏まえて2本の電極から95ボルトのパルスを一秒間に4回出す装置を作り底引網漁船に取り付け試験を行った結果、電極から離れると電気パルスの影響は下がり、電極から約20 cm 以上離れると人は何も感じないことがわかりました。

5. 沼津港に新名所 水門「びゅうお」完成

沼津港の新たなシンボルとなる展望施設付きの水門「びゅうお」が去る9月26日オープン(入場料:大人100円、小中学生50円)し、1ヶ月が経過した10月26日までの入場者は約23,100人(9月26日から10月3日の無料開放時に約11,600人が入場)となりました。

この水門は東海地震の津波対策として県が設置し、3台の地震計が設置してあり、このうち2台が震度6弱以上の地震を感知すると自動的に水門が閉まる設計がされています。また、東海地震の警戒警報が出された時などにも水門を閉めることとなっています。

展望室は水路を挟むように立つ二本の柱の上に位置し、高さは約30 m で、2基のエレベーターを備え両方の展望室は約30 m の渡り廊下で結ばれていて、渡り廊下を含めた展望室の面積は435平方 m です。

沼津港では魚市場周辺が県内外からの観光客でにぎわう人気スポットになっていますが、「びゅうお」は新たな観光資源になると沼津市や地元経済界も期待を寄せています。

開館時間:午前10時から午後5時 休館日:火曜日(祝日の場合はその翌日)

6. 諸会議・日程(11月2日(火)~11月15日(月)) - 既報分省略 -
11月5(金)~7日(日) 県桜えび漁業組合・下田市漁協 = 全国お米まつりinしずおか出展(グランシップ)

11月8日(月) 県JF共済推進本部 = 推進専門委員会 (県水産会館)

11月8(月)~9日(火) 県漁連 = 自民党水産関係国会議員と漁業関係者との対話集会及び視察 (伊東市・内浦・由比港・焼津)

11月10日(水) 県JF共済推進本部 = 県JF共済推進本部運営委員会 (県水産会館)

" 県漁連 = 第4回監事会・第6回理事会 (")

" " = 県漁協組合長会議実行委員会 (")

11月12日(金) 県漁連 = 県協同組合間提携推進協議会女性交流集会 (内浦)